

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

<b>事業名</b> 一般国道10号 <small>かどがわひゅうが</small> 門川日向拡幅	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局																				
<b>起終点</b> 自：宮崎県 <small>ひがしうずきぐん</small> 東臼杵郡 <small>かどがわらよう</small> 門川町加草 至：宮崎県日向市大字平岩	<b>延長</b> 12.8km																					
<b>事業概要</b> 門川日向拡幅は、国道10号の交通渋滞や交通安全性の向上等を図り、沿線地域の発展に貢献することを目的とした事業である。																						
S45年度事業化	H8年度都市計画決定 (H20年度変更)	H12年度用地着手																				
H14年度工事着手																						
全体事業費	約314億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)																				
	約95%	供用済延長																				
		11.3km																				
<b>計画交通量</b> 28,600～36,700台/日																						
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>B/C</b> (事業全体)</td> <td style="width: 20%;">4.3</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>4.2</td> </tr> </table>	<b>B/C</b> (事業全体)	4.3	(残事業)	4.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 20%;">17/1,008億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費)</td> <td>11/859億円</td> </tr> <tr> <td>(維持管理費)</td> <td>5.9/149億円</td> </tr> </table>	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)	17/1,008億円	(事業費)	11/859億円	(維持管理費)	5.9/149億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 20%;">70/4,350億円</td> </tr> <tr> <td>(走行時間短縮便益)</td> <td>59/3,933億円</td> </tr> <tr> <td>(走行経費減少便益)</td> <td>7.4/275億円</td> </tr> <tr> <td>(交通事故減少便益)</td> <td>3.1/142億円</td> </tr> </table>	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)	70/4,350億円	(走行時間短縮便益)	59/3,933億円	(走行経費減少便益)	7.4/275億円	(交通事故減少便益)	3.1/142億円	<b>基準年</b> 令和3年
<b>B/C</b> (事業全体)	4.3																					
(残事業)	4.2																					
<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)	17/1,008億円																					
(事業費)	11/859億円																					
(維持管理費)	5.9/149億円																					
<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)	70/4,350億円																					
(走行時間短縮便益)	59/3,933億円																					
(走行経費減少便益)	7.4/275億円																					
(交通事故減少便益)	3.1/142億円																					
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=4.2～4.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=4.3～4.3（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=4.3～4.3（事業期間±20%）																						
【残事業】交通量：B/C=3.8～4.7（交通量 ±10%） 事業費：B/C=4.0～4.5（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=3.9～4.4（事業期間±20%）																						
<b>事業の効果等</b>																						
①交通混雑の緩和 ・国道10号の円滑な車両走行が確保されることで、交通混雑の緩和が期待される。																						
②交通安全性の向上 ・国道10号の混雑が緩和し、交通安全性の向上が期待される。																						
③地域経済の活性化を支援 ・東九州自動車道へのアクセス性向上を図り、新たな企業立地や事業拡大等雇用の確保と地域経済の活性化が期待される。																						
④生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減(CO2, NO2, SPM削減)																						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 日向市長・門川市長・延岡市長等で構成される国道10号整備促進期成会（会長：延岡市長）により早期整備の要望を受けている。（令和3年5月）																						
<b>県の意見</b> 一般国道10号門川日向拡幅につきましては、これまで全延長12.8kmのうち、約11.3kmが供用され、交通混雑の緩和や交通安全性の向上などに一定の効果が現れております。また、細島港や東九州自動車道へのアクセス性の向上が図られ、物流の効率化はもとより、更なる企業立地や事業拡大など雇用の確保と地域経済の活性化に大きな役割を果たす重要な道路整備であることから、「対応方針（原案）」案の「継続」について異論はありません。																						
当該事業につきましては、地元自治体や関係団体からも強い要望がなされているところであり、残る1.5kmの区間につきましても、早期に供用予定時期を示した上で、より一層の整備推進をお願いします。																						

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は減少傾向にあるが、交通量は約2万台/日で推移している。一世帯当たりの自動車保有台数は宮崎県や九州全体を上回り高い。社会的情勢の大きな変化は認められない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和45年度に事業化、用地進捗率99%、事業進捗率95%（令和3年3月末時点）

平成6年度：門川地区 延長4.9km（4/4）開通

平成9年度：日向地区 延長4.9km（4/4）開通

平成17年度：財光寺地区（新生町～長江北(仮)）延長0.3km（4/4）開通

平成21年度：財光寺地区（長江北(仮)～長江）延長0.4km（4/4）開通

平成25年度：財光寺地区（木原～赤岩新橋）延長0.8km（4/4）開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。